

財務指標の例⑭

棚卸資産回転期間

2018年度の棚卸資産回転期間（全産業・全規模）は0.95月

※業種別・資本金別

業種	資本金			
	1,000万円未満	1,000万円~1億円	1億円~10億円	10億円以上
製造業	0.67月	1.30月	1.30月	1.33月
非製造業	0.69月	0.92月	0.65月	0.86月

(1) 財務指標の説明

棚卸資産回転期間とは、売上高に対する棚卸資産の割合を言い、企業の所有する棚卸資産がどれくらいの期間で販売されたかを計る尺度です。

棚卸資産回転期間が短い場合は、一般的に棚卸資産が効率的に収益に結びついていると言われます。棚卸資産回転期間が長い場合は、在庫の増加や販売までの期間の長期化が背景にあると考えられます。

$$\text{棚卸資産回転期間(月)} = \frac{\text{棚卸資産} * [\text{期首} \cdot \text{期末平均}]}{\frac{\text{売上高}}{12}}$$

貸借対照表

資産の部	負債の部
I 流動資産 棚卸資産	I 流動負債
II 固定資産	II 固定負債
III 繰延資産	
	純資産の部
	I 株主資本
	II 評価・換算差額等
	III 新株予約権
資産合計	総資本（負債・純資産合計）

損益計算書

I	売上高
II	売上原価 売上総利益
III	販管費 営業利益
IV	営業外損益 経常利益
V	特別損益 税引前当期純利益
VI	法人税等 当期純利益

*棚卸資産＝製品又は商品＋仕掛品＋原材料・貯蔵品

(2) グラフで見る最近の動き

2018年度の製造業、非製造業を見ると、製造業・非製造業ともに棚卸資産が対前年度比で増加したことから、全産業で見た棚卸資産回転期間は対前年度比で長期化しています。

